


別記様式(第4条関係)

会議録

| | |
|--|----------------------------------|
| 会議の名称 | 平成28年度第1回加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会 |
| 開催日時 | 平成29年2月27日(月) 午後7時00分から午後8時40分まで |
| 開催場所 | 「とどろき荘」1階 多目的ホール |
| 出席及び欠席委員の氏名 (出席委員7人) 上中 彰文 神戸 洋一 小紫 正博 橋本 匡史 藤原 文子 森本 陽己 山田 ゆかり (欠席委員1人) 長尾 きみよ | |
| 説明のため出席した者の職氏名 加東市社会福祉協議会(指定管理者) 会長 吉村 進吾 事務局長 野瀬 光 職員 前田 恵 加東市教育委員会(東条公民館) 館長 小松 浩生 主査 原 弥生 | |
| 出席した事務局職員の氏名及びその職名 加東市長 安田 正義 福祉部長 丸山 芳泰 社会福祉課 課長 近澤 孝則 副課長 藤本 弘子 主幹 岸本 純子 | |
| 議題、会議結果、会議の経過及び資料名 1 報告事項等 (1)「とどろき荘」改修工事の概要について (2)その他(意見交換等) 2 会議結果 資料に基づき報告、説明し、質疑応答を行った。 3 会議の経過 別紙のとおり | |

平成29年 4月 28日

署名人 上中 彰文 

(別紙) 平成28年度第1回加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会の経過

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項等

(1) 「とどろき荘」改修工事の概要について

| 発言者 | 会議の経過／発言内容 |
|-----|---|
| 事務局 | 資料に基づき工事の概要説明を行う。 |
| 委員 | とどろき荘は福祉目的の温泉という位置づけだったが、今後どうなるのか。 |
| 事務局 | 2階は公民館施設、1階は温泉施設と多目的ホールがある福祉センターであり、福祉センターと公民館の複合施設となる。 |
| 委員 | 温泉から福祉という目的を取って、一般向けの観光・営利目的の施設となるのか。条例も変えたのか。 |
| 事務局 | 施設名も東条福祉センター「とどろき荘」のまま、条例からも“福祉”を外したりしない。浴室内に休憩場所を設置するなど、福祉を考慮した改修計画としている。 |
| 事務局 | 条例には「住民福祉の向上及び文化教養の向上を図り、総合的な福祉社会づくりに寄与するための施設として設置する」とうたっている。 |
| 委員 | 変更しないのか。 |
| 事務局 | しない。ただし、使用料等の変更はある。 |
| 委員 | 地元の方専用の施設ではなく、一般外来向け入浴施設として営業することによいか。福祉部門と営業部門が併存していることに違和感がある。 |
| 事務局 | 温泉も福祉サービスも継続する。ただ、毎年3～4千万の赤字について、審議会でも議論していただいていた。そこに立ち帰らないといけない。 |
| 委員 | プロジェクターで資料を写すなどして説明してほしい。 |
| 委員 | 社協と公民館が同じ事務所になるが、問題ないのか。 |
| 事務局 | 公民館職員と事前によく協議し、来客の動線を考えてレイアウトした。 |
| 委員 | 来客から見たらどちらの職員かわからず、問題になるのではないのか。 |
| 事務局 | 受付窓口には両方の職員が常時待機し、すぐ対応できる態勢をとる。 |
| 事務局 | 事務所を一つにまとめた方が市民にとって便利だという声をいただき、検討した結果である。 |
| 委員 | 今、3～4千万赤字だが、何年か後に再度見直して、温泉を縮小、廃止するのか。 |
| 事務局 | 平成25～27年は年平均3,900万円の赤字で、以前から継続している。我々としては何とか経費を削減し、入場料収入3千万の中で運営していく計画を考えてきた。 |
| 委員 | 入場料を下げ、入場者数を増やすことを考えてほしい。 |
| 事務局 | 平成28年度は入場者数は増加傾向。ただし、割引券を配布したので、収入的には若干減。 |
| 委員 | ぼかぼの入場者数はどうか。 |
| 事務局 | もっと多い。 |
| 委員 | ということは、営業努力が足りないのか。 |
| 委員 | この審議会は何について審議すればよいのか、我々の役割について説明してほしい。 |
| 事務局 | 通常は経営状況や次年度の事業計画について説明し、ご指摘、ご意見をいただき、改善していく場である。 |
| 委員 | 審議会では毎回、意見が出ているが、改善された部分はない。この改修計画によって本当に赤字削減や収益向上はできるのか。投資してもサービス改善の取組がなければ、収益性の温浴施設としては廃止の方向が濃厚ではないか。 |

| | |
|--------------------|--|
| 事務局 | 社協もかなり努力し、収支は改善してきている。 |
| 社会福祉協議会 (指定管理者) | 単なる温浴施設ではなく、地域住民の憩いの場としてイベントを開催している。また、近隣施設にチラシや割引券を置いてもらうなど営業努力をし、平成28年度は入浴者数が回復した。 |
| 委員 | 現在の東条公民館は取り壊すのか。 |
| 教育委員会 (東条公民館) | 耐震基準を満たしておらず、平成30年度に撤去予定。 |
| 委員 | とどろき荘2階の規模で、現公民館の規模をまかなえるのか |
| 教育委員会 (東条公民館) | トータルで面積は満たしている。公民館大ホールは、とどろき荘多目的ホールで代替できる。 |
| 委員 | 浴場の規模は改修後も同じか。 |
| 事務局 | 現在50人で、改修後は10人減で40人。 |
| 委員 | 定員は一度に入れる人数であり、団体利用があれば別だが、10人減といっても、縮小したというほどではない。 |
| 事務局 | お正月には一度に50人入ったこともあるが、通常は20～30人が一度に入られている。 |
| 委員 | 温泉の質は良い。ぽかぽより良い。 |
| 委員 | 泉質は最高だ。 |
| 委員 | まちづくり協議会で、ふれあい喫茶をしている。公民館がとどろき荘2階へ移転することは既に決定事項で、意見を言える時期ではなく、あとはどう使うか工夫するしか仕方がないのだとわかっている。先日、この改修工事を見直す要望について署名してくれと来られた。私は今更遅いと思ったが、東条地域住民の感覚はそんな感じだ。東条地域は置いてきぼり、除け者にされていると感じている。皆が満足する方法を検討してほしい。 |
| 委員 | 自身の役割として、売上向上に貢献できたらと委員を引き受けたが、それでよいのか。 |
| 事務局 | 今回の改修工事は元来、規模縮小して経営改善を図るという方針に基づいており、その上で集客アップも考慮した計画としている。浴室についても検討を重ね、公民館の移設についても経費節減に繋がるよう検討した。 |
| 委員 | とどろき荘は、営利を目的として利益のために努力する温泉ということになると、条例に規定する“福祉センター”と合わないのではないのか。 |
| 事務局 | 営利目的とは利益を上げて経営を成り立たせることだが、それは無理なので、経営改善を図り3～4千万円の赤字を減らしていくという方向性で、福祉としてやむを得ない部分はある。福祉だからと言って赤字を垂れ流してよいという考えではないことを理解してほしい。 |
| 委員 | 例えば、営業目標として入浴者数8万人を目指すにはどうすればよいかとか、公民館機能充実のためにはどんなイベントがよいかなど、よりわかりやすい具体的な目標を示し、審議会がやるべきことを整理していただきたい。 |
| 事務局 | 今回は改修計画の概要の報告で、活性化に向けた協議は予定していなかったが、次回から検討課題としてお願いしていく。 |
| 事務局 | 毎年、次年度の事業計画を検討していただく中で、人数や売上の目標を設定してこなかったのが、今後は具体的な目標をお示しする。 |
| 社会福祉協議会 (指定管理者) | 今回は、改装工事の内容を説明する場である。毎年3月の審議会では利用状況、経営状況等を社協から説明していた。イベントについても、社協職員が東条地域まちづくり協議会にも協力いただき努力している。住民はもっととどろき荘を愛し、月1～2回でも来てもらえたら経営は成り立つ。批判するのは簡単だが、経営をどうするか、みんなで考えて協力してほしい。 |
| 事務局 | 今の施設のままではいくら努力しても赤字を削減できないので、我々と |

| | |
|-----|---|
| | <p>しては何とか経費を削減する方法を考えた結果、今回の改修工事となったことを理解してほしい。しかしこれでよくなるかという、やはり来てもらわなければ仕方がない。4万市民すべてが3回来れば12万人になる。そのためにも費用をかけて施設をきれいにするという計画である。福祉施設だからといっていつまでも市民の税金で赤字を補てんし続けてよいのかという議論も数多くあった中で、あえて費用をかけるという提案に至っている。また、公共施設の老朽化対策の一環として、東条公民館をこの改修計画に盛り込むことで、経費節減にも取り組んでいる。東条公民館内の児童館事業「鯉こいランド」は、別に施設を新設しており、一連の流れの中での取り組みであることをご理解いただきたい。</p> |
| 委員 | <p>最終的にこの計画を判断をするにあたり、事業計画等が示されないと承認しにくい。この計画にこれだけの経費を掛けることが妥当であるという説明はないのか。</p> |
| 事務局 | <p>それは集客ができるかにかかっている。どんな施設でも、人が来なければ費用を回収できない。これだけの工事はやるので、その後の集客については委員のご意見をいただきたい。これで必ず赤字が改善するのかわれれば、そういうものではない。ただ、現在の入場者数を確保できれば改善できると見込んでいる。</p> |

(2) その他 (意見交換等)

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>集客にあたってはSNSが非常に効果的である。また、兵庫教育大学の学生も協力すると言っており、やり方次第で売上を増やせると思う。</p> |
| 委員 | <p>よい方向に行くように、市ももっと援助してほしい。</p> |
| 委員 | <p>市としては大きな金額を使うことになる。この計画を我々審議会が承認するかしないかの責任があり、承認した限りは、集客や売上向上のために協力していく。</p> |
| 委員 | <p>工事計画は全て決まっており、今後どう使うかを考えるのが審議会だと思う。だから委員に委嘱されてから、地域の声を聞いて情報収集してきた。ただ、お金が絡むと難しい。</p> |
| 委員 | <p>公民館機能としては使い勝手の良さが基準だし、温浴施設としては泉質の良さをアピールできる改装工事になっていけば、集客アップになると思う。</p> |
| 事務局 | <p>改修工事については承認というよりご報告で、今後の運営については次回以降に審議していただく。</p> |
| 委員 | <p>ジャグジーは無くても問題ないと思う。</p> |
| 委員 | <p>泉質が良いのはわかっているので、今後はどうすれば繰り返し来てもらえるかを考えるべき。</p> |
| 委員 | <p>東条地域の住民も協力しないといけない。</p> |
| 委員 | <p>これだけお金をかけてもらったのに何をしていたのかと言われたいようにしないと。</p> |
| 事務局 | <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> |